

食生活改善への尽力を評価



受賞を喜ぶ小澤さん

食生活改善地区組織育成・強化推進会議(県食生活改善推進員団体連絡協議会など主催)はこのほど、盛岡市のホテル紫苑で行われ、小澤しづさん(七)川向Ⅱが、食生活改善を主とした健康づくり活動を先導してきたことが評価され、公衆衛生功労県知事表彰を受賞しました。

小澤さんは、昭和五十六年の町食生活改善推進協議会設立と同時に会長に就任。二十年間の長きにわたり、同会の円滑な運営に力を注ぎました。

また、各公民館単位での「地区普及講習会」や「高齢者とのふれあいの一日」、「生活習慣病予防のための事業所めぐり」などの事業を先導。現在の活動の基礎を築き上げました。

十二月十六日には、同会(松田ミチ子会長、会員六十人)が主催する「受賞を祝う会」が保健福祉センターで行われ、会員らが、手づくり料理でもてなすなどし、これまでの小澤さんの功績を讃えました。

これまでの活動を振り返り小澤さんは「町民の皆さんが健康でいてくれることが活動を続けるうえで励みとなっていました。地域に密着した活動を信条に、全地区に会員を配置できたことが一番の思い出」とし、会員らには、「世の中の変化に柔軟に対応することが大切。これまでの活動にアタクセントを加えながら、新たな住田型の食生活改善を展開してもらいたい」と話していました。

オリジナルの竹細工制作



紺野さん(右)の指導に見入る参加者

町が主催する竹細工教室が十月から木工館で行われ、参加者十六人が伝統技能の習得に取り組んでいます。

この教室は、紺野小三郎さん(七)土倉Ⅱを講師に、月二回ずつ、来年二月まで開かれるもの。

参加者は「おん」「ひか」「な」などの制作に悪戦苦闘しながらも、講師の手さばきに見入り、懸命に手を動かしていました。

初めての参加という紺野信子さん(五)上寒倉Ⅱは「作業が繊細で難しい。教室が終わるまでには何とか一つ完成させたい」と話していました。

熱戦を制し曙Aが2連覇

第二十七回町男子成人バレーボールナイターリーグ決勝大会が十一月三十日、生涯スポーツセンターで行われました。

同リーグは、十一月月上旬から一部(九チーム)と二部(九チーム)に分かれて、熱戦が展開されていたもの。

決勝大会には、一部の上位六チームが進出。二ブロックに分かれてリーグ戦をし、両ブロックの同じ順位チーム同士の対戦で、最終順位が決定しました。

決勝は、曙Aと中沢が対戦。白熱した試合展開となりましたが、フルセットの末、曙Aが二年連続の優勝を飾りました。



大会2連覇を飾った曙Aチーム

好評の散髪ボランティア



入所者を丁寧に散髪する会員

理容・美容組合気仙支部住田地区(中館健二代表)の会員十三人が十二月八日、特別養護老人ホームすみた荘を訪れ、入所者に散髪ボランティアを行いました。

これは、すみた荘の開所以来十九年間、お盆とお正月前に行っている恒例の行事。会員らは、三時間をかけて、約五十人の散髪や顔毛剃りを丁寧に行いました。

すつきりと散髪された入所者らは「これで気持ちよくなるが越せる」と喜んでいました。

ソーラーカーを組み立てる児童たち(世田米小)

新エネルギーってすごい

小学生を対象とした「新エネルギー教室(町、東北経済産業局などの主催)が十一月二十七、二十八の両日、町内三つの小学校で開かれました。

これは、子どもたちに環境問題、太陽光や風力といった新エネルギーについて考えてもらおうと行われたもの。

児童らは、講師となった漫画コンビ「せいじ・けーすけ」さんのクイズを交えた楽しい講話を聴いたり、工作キットのソーラーカーづくりに挑戦。最後は、ライトを当てながら走行テストをして、新エネルギーに理解を深めました。



珍しい話題などがありましたら総務課行政係へご連絡を。
☎④2111内線115

商業体験の収益で贈り物

→紺野会長と小松施設長に寄贈品を渡す下の六年生



↑12月7日の商業体験の様子

下有住小学校(大友たつ子校長、児童五十三人)の六年生十六人が十二月十八日、町社会福祉協議会(紺野朋夫会長)と社会福祉法人鳴瀬会(櫻井末男理事長)に孫の手二百七十本とみかん六ケースを寄贈しました。

寄贈された品は、十二月七日に行われた歳末たすけあい芸能祭の会場内で、児童らが商業体験をし、その収益で購入。その中でも孫の手は、体験後に児童らが「お年寄りに喜んでもらえるものは何か」と一生懸命に話し合いながら、贈ることにしたものです。

同校で行われた寄贈式では、

クラスを代表して吉田美香さん、新切さんと佐藤博寿くん、十文字君が「商業体験の収益で購入しました。お年寄りに渡してください」とあいさつ。

紺野会長と小松久平特別養護老人ホームすみた荘施設長が「ありがとうございます。施設の入所者やデイサービスの利用者、一人ひとりに使ってもらいます」とお礼を述べました。

児童らは、「接客などで体験は大変だったが、お年寄りに贈り物ができ、頑張った甲斐がありました。これからもボランティア活動を続けていきたい」と話していました。